

所得制限・併給制限・利用者負担額

1 手当・年金等の所得制限

手当・年金等制度については、受給資格者やその扶養義務者などの所得が多いときは、手当・年金等を受給することができない場合があります。

(前年中の所得が限度を超える場合は、当該年の8月～翌年7月までが受給できません。)

〈所得制限の一覧〉

| 区分 | | 扶養親族数 | 0人 | 1人 | 2人 | 3人 | 4人目以降 の加算額 |
|-----------------------|--------------|-------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|
| | | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 特別障がい者手当 | 受給資格者 | | 3,604,000 | 3,984,000 | 4,364,000 | 4,744,000 | 380,000 |
| | | 障がい児福祉手当 | | | | | |
| 経過的福祉手当 | 配偶者 | | 6,287,000 | 6,536,000 | 6,749,000 | 6,962,000 | 213,000 |
| | 自動車改造費 | 扶養義務者 | | | | | |
| 特別児童扶養手当 | 受給資格者 | | 4,596,000 | 4,976,000 | 5,356,000 | 5,736,000 | 380,000 |
| | 配偶者 扶養義務者 | | 6,287,000 | 6,536,000 | 6,749,000 | 6,962,000 | 213,000 |
| ①児童扶養手当 | 受給 資格者 | 全部支給 | 190,000 | 570,000 | 950,000 | 1,330,000 | 380,000 |
| | | 一部支給停止 | 1,920,000 | 2,300,000 | 2,680,000 | 3,060,000 | 380,000 |
| | 配偶者・扶養義務者 | | 2,360,000 | 2,740,000 | 3,120,000 | 3,500,000 | 380,000 |
| 障がい基礎年金 (20歳前の障がい) | 受給 資格者 | 全部支給停止 | 4,621,000 | 5,001,000 | 5,381,000 | 5,761,000 | 380,000 |
| | | 1/2支給停止 | 3,604,000 | 3,984,000 | 4,364,000 | 4,744,000 | 380,000 |
| 遺児手当② | 受給資格者 | | 1,920,000 | 2,300,000 | 2,680,000 | 3,060,000 | 380,000 |
| | 配偶者 扶養義務者 | | 2,360,000 | 2,740,000 | 3,120,000 | 3,500,000 | 380,000 |
| 母子家庭等医療③ | | | 1,920,000 | 2,300,000 | 2,680,000 | 3,060,000 | 380,000 |
| 在宅重度 | 受給資格者 | 3,604,000 (課税標準額) | | | | | |
| 障がい者手当 | 配偶者・扶養義務者 | 6,287,000 (課税標準額) | | | | | |

※ 受給資格者の所得で、扶養親族等に老人控除対象配偶者又は老人扶養親族がある場合は1人につきこの額に 100,000 円が、特定扶養親族(16 歳以上 19 歳未満の控除対象扶養親族も含む)がある場合は1人につきこの額に 250,000 円(①、②、③のものについては、150,000 円)が加算されます。

配偶者、扶養義務者の所得で、扶養親族等に老人扶養親族がある場合は、1人につき(当該老人扶養親族のほか扶養親族等がないときは、当該老人扶養親族のうち1人を除いた老人扶養親族1人につき)この額に 60,000 円が加算されます。

〈所得の計算方法(平成 27 年 8 月～平成 28 年 7 月支給分)〉

特別障がい者手当、障がい児福祉手当、経過的福祉手当、特別児童扶養手当、児童扶養手当、障がい基礎年金、遺児手当、母子家庭等医療

平成 26 年中の所得－各種所得控除＝判定の対象となる所得

○ 各種所得控除の内訳

- (1) 障がい者(特別障がい者)……………1人につき 270,000 円(400,000 円)
- (2) 寡婦(寡夫)控除(特例)……………270,000 円(350,000 円)

母子家庭等医療は控除しません

児童扶養手当、遺児手当は受給者が父または母の場合は控除しません

- (3) 勤労学生……………270,000 円
- (4) 配偶者特別控除……………実額(330,000 円が限度)
- (5) 雑損・医療費・小規模企業共済……………実額
- (6) 社会保険料控除

ア 特別障がい者手当、障がい児福祉手当、経過的福祉手当、障がい基礎年金の本人所得の場合……………実額

イ その他(ア以外)の場合……………80,000 円(保険料相当額)

※ 特別障がい者手当の受給者の場合は、非課税の公的年金等も収入として計算に含めます。

※ 譲渡所得等、特別に計算を要する所得もあります。

※ 児童扶養手当、遺児手当と母子家庭等医療の受給者の場合は、養育費の 80%を所得として計算に含めます。

在宅重度障がい者手当

平成 26 年中の所得－各種所得控除＝判定の対象となる所得(平成 27 年度個人の市町村民税の課税標準額) ※各種所得控除は市町村民税のものと同じです。